



円通貨の下落と経済予測

Office
of
Takeshi
Kuroda
黒田 インターナショナル コンサルティング
黒田 毅

貿易赤字の形成は、先端産業とエネルギー、食糧の輸入において、円の下落は、これら、永続する貿易赤字を形成する。これらはアベノミクスにおける通貨供給の増加における海外への資金の流出と円の下落が、経済施策において、与えられた結果である。自由貿易システムは、これらとともに、グローバル経済の形成を与えるものである。

また台湾侵攻における株式市場の崩壊と円通貨のさらなる下落は、西洋陣営における新しい経済環境とその他の崩壊を与えるものである。

これらはアングロサクソンミッションであり、これらは世界の先端産業が、新しい世界の創造を有し、日本経済は、その新しい経済サイクルにおいて、完全な崩壊を約束されるものである。

日銀における国債の買取りは、もはや買い手がないためであり、国家財政は完全な破綻状態に存在するのである。

ゼロ金利は、海外投資家が、安易に利益を構築できることであり、財政の破綻が現実ならば、金融に限らず、国家の完全な破綻は存在する。

これらにおいて先端技術への企業の買収さえ、新しい政治環境において許容されるかは、予測できない。

これらは大衆心理の誘導する、CIA などの関与は大きく、新しい国家構築は、ウクライナのオレンジ革命と同様、CIA における新しい国家構築が予測される。

これらは、新しいマネーシステムと経済システムが構築されることであり、アジア太平洋戦略は存在しなかったことが明白である。

他方には巨大ファンドを筆頭とする、世界における資本力が存在するのである。これらの現実において、対等な世界の現実への対峙が唯一の選択であり、これらはリーダーシップと政治力における、選択を要求されるものである。